

2019年11月17日（日）

主 題：「あなたの人生 大丈夫ですか」  
—幸福へのターニング—

聖 書：ヨハネの福音書14章6～12節

**はじめに**

- ・今日、はじめて教会へ来られた方々、そしていつも教会へ来ておられる方々、歓迎いたします。皆さんとご一緒に、神様に礼拝をお捧げできる幸いを嬉しく思います。
- ・今日の私のメッセージの主題は、「あなたの人生 大丈夫ですか」です。大丈夫ですか？と聞かれると、正直言って「大丈夫かな」と考えるものですね。なぜと言えば、大丈夫とは言えない不安要素が、私たちの人生にはあるからです。
- ・先日、台風19号、そして千葉県、福島県を襲った集中豪雨による自然災害は大きな被害をもたらしました。気象庁から警報が何度も出ていましたが、「想定外」の自然災害が発生してしまいました。本当に残念で心が痛みます。
- ・なにしろ1ヶ月分の雨量が、わずか半日で降ったのですから、河川は氾濫してしまいました。当時、この災害に出会った人たちの多くが、「まあ、大丈夫だろう」と考えたそうです（台風国日本）。しかしその結果は、今回の大被害となりました。
- ・皆さん。私たちの人生では、「想定外」の出来事が起こります。あなたは、一生懸命に働いておられるでしょう。一生懸命にビジネスに力を注いでおられるでしょう。あるいは、一生懸命に勉強しておられるでしょう。また女性は一生懸命に家事・育児をしておられるでしょう。それらは、すべて良いことで尊いことです。しかし、あなたの人生、大丈夫でしょうか？
- ・心血注いで、一生懸命働くことは良いことです。しかし働き過ぎ（過労）は問題です。過労は疲労をつくり、さらにストレスを貯めてしまうからです。そして、それが積もれば病気になってしまいます。
- ・愛する皆さん。天地を造り、私たち人間をもお造りくださった神がおられるならば、神は私たちがそのようになることを望んでおられると思われませんか？  
いいえ、神の御心は、私たちがストレスから解放され、「大丈夫」という人生を歩むことです。
- ・では、私たちはどうすれば、そのような「大丈夫」と言える人生を送ることができるでしょうか。人生で疲れ切ってしまうわない、能率的な生き方はないでしょうか。イエス・キリストはこう言われました。ヨハネ福音書  
イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」  
ヨハネ14：6
- ・イエスはここで、大切なことを3点教えています。



すなわち：➡ 「道」、「真理」、「いのち」です。  
この3点こそ、人が生きるために大切なことです。今日、私は次の2点を考えてみたいと思います。

### 大切なポイント

#### 1. イエス・キリストのことば

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」 ヨハネ14：6a

- ・イエス・キリストは不思議なことを言われました。

#### 1) わたしは道です

- ・世の中、多くの人々が生きる道を求め探しています。  
今の時代の若者の特徴は、いったいどんな道に進めばよいか分からないと聞いたことがあります。

『例 話』 先日の読売新聞（大阪版19年11月1日）の「人生相談」コーナーにこんな質問がありました。

- ・20代の男性塾講師。何かやらなければと気持ちだけが先走りしています。  
医師になるのが夢で、中高一貫校から医大に入りました。しかし大学になじめないまま、心の病を患い、今春退学しました。
- ・退学後、少しでも自分の経験を生かせそうな塾講師になりました。大学中退の自分を正社員で雇ってくれた会社には感謝しています。高い水準の成果を求められ、続ける自信がありません。とはいえ、学歴も職歴もない自分を雇う会社があるとは思えません。
- ・自分の市場価値を高めようと社会保険労務士の勉強を始めました。しかし次に何をするか考えないまま、勉強だけしても上滑りだ、と思う自分もいます。両親や友人は温かく接してくれますが、医師や官僚になった友人にまぶしさを覚え、つらくなります。やりたことがわからない、子どものままの自分を厳しい言葉で落ち着かせてください・・・。
- ・皆さん。これは1例にすぎません。真面目に自分の人生を考えるならば、だれでも悩みます。これが、私の生きる道と、確信を持って言える人はどれだけいるのでしょうか。イエスは「わたしは道です。」と言われました。道は先に続いてどこかへ向かいますが、どこへ向かう道でしょうか。それは神がおられる幸福の国（神の御国）です。
- ・ここに、人の人生を示す道があります。イエスはさらに言われました。

#### 2) 「わたしは真理です」

- ・多くの人々は、真理が分からなく、悩んでいます。真理は正義ともいえるでしょう。世の中、不正が横行し、悪を行う人々が後を絶ちません。上手に不正を行い、生きている人もいます。世の中は、本当に理不尽であると思います。
- ・日本社会だけを見ても、大会社の幹部の人たち、日本国の大臣ともなった方々、大切な子どもたちを教育する教師、人の前立って指導する人々が悪いこと（犯罪、事件）を行っています。それらが昨今明るみに出ています。

- ここに社会の暗い仕組みがあると思います。いったい、だれが、私たちの生きる道はここにがある、と言えるでしょうか。真面目に考え、正直に生きようとしている人々は、疲れてしまいます。
- 皆さん。ここに生きる道がある！ と断言できる人は神お一人です。なぜなら、人間はみな不完全で失敗、過ち、悪を行なうからです。ですから。そんな人間が、「ここに道がある」などは決して公言できません。イエスは「わたしは真理です。」と公言されました。真理とは正しいということです。これは、とても重いことばです。イエスは、もうひとつ大切なことを言われました。

### 3) 「わたしはいのちです」

- 皆さん。人間にとって最も大切なものは何かといえば、それは「命」です。1人の人の命は地球より重いとされますが、確かにそうですね。命は英語でlife(ライフ)と言います。このlifeという語には、もうひとつ意味があります。それは ➡ 「人生」です。 そして「命」と「人生」に共通するものがあります。それは一度しかないということです。
- どれだけ願っても、人生は一度です。命も一度だけです。ですから、私たちの存在はとても貴重です。聖書はこう語っています。イザヤ書 43:4  
「わたし(神)の目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」  
私たちの人生は、高価で尊いのです。
- イエスは「わたしはいのちです。」と言われました。つまりイエスには、生きる「いのち」の源があるのです。私たちが本当に求めているのは、死んだものではなく、生きている「いのち」です。天地を創られた神は今も、生きておられます。そしてすべてのものを支配されておられます。

#### {例 話} <英国のある無神論者と牧師>

- オックスフォード大学の Richard Dawkins 教授は無神論者です。ある日、Dawkins 教授と彼に賛同する無神論者たちが、自費で制作した「おそらく神はいない。だから、気ままに人生を楽しもう！」という広告を貼り付けたバス800台が、市内を駆け巡りました。
- その頃、同じく無神論者の Charles Pzarov 教授は、ロンドンの貧民街で仕えていた Prize Fuzu(プライズ・ヒューズ)牧師と、無神論とキリスト信仰について公開討論会をひらくことを提案しました。ヒューズ牧師はその提案を受け入れて、こう言いました。
- 「私は、私が伝えたイエスを信じて変えられ、人生の目標を見つけ、イエスのために「いのち」をも差し出すほどに変えられた人を100人連れてきます。だから、あなたも無神論者になって人生が変えられた人を100人連れて来てください。100人いないというなら50人、50人が駄目なら20人でもかまいません。
- さらに、人生の意義を失い挫折と絶望の中から無神論に改宗し、人生の目的を見出した人が1人でもいるならば、連れて来てください。」それを聞いた Charles Pzarov 教授は、言葉を失いました。そして討論の提案を撤回しました。
- 皆さん。イエスに出会い、真の「いのち」をいただき、人生を変えられた人々は多くいます。イエスは言われました。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」も

イエスが神でないならば、決してこのような発言はできません。むしろ神を冒瀆する罪となります。しかし、そうでしょうか。新約聖書は約2千年間も、このみことばを語り続けてきました。それは、神のおことば（不変）だからです。

- ・イエスは、もひとつ大切なことを言われました。

## 2. 幸福な人生を得る術

「わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」

ヨハネ14：6

- ・私たちの人生には、幸福を得るために大切なことが3点あります。

### 1) 人生で立ち止まること

- ・忙しく動き、働いている貴方、すこし考えてみませんか。

「東京オリンピック2020」はもう来年に近づいてきま  
 ンピックのハイライトは、マラソンです。約40km 走行  
 を切るランナーの姿は圧巻です。しかし、マラソンランナ  
 までも走りつけることができる人はいません。そうです。  
 れば疲れ切ってしまうからです。



した。オリ  
 し、ゴール  
 ーでいつ  
 全力で走

- ・私たちの人生を、競技場で走るランナーにたとえるならば、  
 も走り続けることはできないことは明らかです。しかし、私たちは超多忙な生活を送っ  
 ています。まるで走り続けるランナーのようではないでしょうか。
- ・では、どうすれば良いのでしょうか？ ➡ 「人生で立ち止まること」です。  
 立ち止まることによって、自分に返る時間を持つことができます。自分に戻る場  
 所を持つことができます。自分を見つめる機会も、持つことができます。
- ・ですから、立ち止まることをお勧めします。

### 2) 人生で整理をすること

- ・忙しく動き、働いて貴方、少し考えてみてください。  
 立ち止まることもなく、走り続けるならば、どうなるでしょうか。  
 疲労困憊し、何が何か、分からなくなってしまおうでしょう。
- ・そこで大切なことは、人生で整理することです。心静めて、自分を整理することです。  
 そこで大切なことは：

① 整理の基準です ➡ 「聖書」(物差し)

② 毎日の整理は効果的です ➡ 心の余裕ができる(豊かさ、居場所)

クリスチャンは、これを「静思の時」(devotion)と呼んでいます。

「例話」居場所

日本では、多数の人々が“Café”、「コーヒーショップ」(喫茶店)に「行きます。今の若  
 者たちはStarbucksで、コーヒーを飲み一休みしていますね。

それは、精神的にとっても効果的だそうです。なぜでしょうか？ 一休みして、それなり  
 の整理をしているからです。

- いかがでしょうか。あなたは人生において、どこで、どのような整理をされているでしょうか。スターバックスも結構ですが、一番幸いなことは、神の前で心静めることです。そして1日を、あるいは1週間を整理することです。クリスチャンは、週のはじめの日（日曜日）に教会へ来て、心の整理を行っています。それは実に幸いなことです。

### 3) 人生で方向を確認すること

- 忙しく動き、働いて貴方！ 考えてみてください。  
あなたの人生、大丈夫でしょうか。人生の正しい「道しるべ」をお持ちでしょうか。  
『例話』 道を見失ったら
- あるユダヤの賢者（ラビ）が、次のような質問を弟子たちにしました。  
「もし旅人が道の途中で道を見失った時は、どうしたらよいでしょうか。」  
弟子の1人が答えました。「先生、それは簡単ですよ。地図があれば、その道へ戻ることができます」。すると別の弟子が「砂漠の中で、地図はないでしょう。だから磁石ですよ。磁石があれば、どんな所でもその方向に向かって進むことができます。」
- すると最後に一番弟子が「何を言っているんだ！ 地図や磁石がない場合だってあるでしょう。星だよ。天体の動きを見れば、方角が分かります！」しかし、どの回答もユダヤの賢者をうなずかせるものではありませんでした。
- するとラビはゆっくりと、口を開きました。「地図や磁石、それに星などは面白いアイデアだ。しかし、それらはその場しのぎの回答である。最も良い解決法は、もう一度、その出発点に戻り、方向を見極めることである。何のために旅立ったのか、何を求めて、どこに行こうとしていたのか、出発の原点に立つ時、」自ずとその道が見えてくるものである。」と。
- あなた人生の出発点はどこでしょうか？ 聖書は人生のコンパスです。  
イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」

ヨハネ14：6

- では、なぜイエス・キリストは「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」と公言できたのでしょうか。それは、イエスが十字架にかかり、いのちをかけて言われたことばだからです。聖書は、イエスは罪を知らないお方と言ひ、犯罪人として処刑されたと記録しています。それは、生きる目的と意義も分からない私たちが、悪（罪）と悩みから解放され、救われ、人生の目的を得るためです。イエスは悪（罪）を十字架で精算してくださいました。
- その証は、イエスは死んで3日目に復活されたことにあります。つまり死に勝利されました。ですから、イエスのおことばには権威があり、人を救う力があるのです。
- 愛する皆さん。神が私たちを創造された目的、それは私たちを祝福（幸福）することです。いかがでしょうか。あなたも、あなたの人生を、イエスにお任せされませんか。十字架にかかり、生命を与えてくださったほどに、私たちを愛して下さっているお方です。
- 今日のメッセージをまとめてみましょう。

**ま と め**

主 題：「あなたの人生 大丈夫ですか」

—幸福へのターニング—

- ・ 今日、私たちは生きるために大切なことを聞きました。  
あなたの人生、大丈夫でしょうか。イエスはこう言われました。  
「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。」 ヨハネ14：6a
- ・ あなたも今日、イエス・キリストを信じ、人生をお委ねされませんか。

\* God bless you !